

《住宅火災における鎮圧・鎮火・残火処理》

鎮圧

=

- ・延焼拡大がないと判断できる場合
(火が見えていたとしても)



状況によるが時間的には短い

鎮火

=

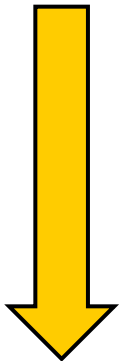
- ・火をおさえこみ消防隊が優勢になった場合
- ・再燃がないと認められた場合



残火処理
・
解散式

〈 残火処理 〉

- ・堆積物（布団や畳など）が多い場合などはめくりながら火種を確認、消火する。
- ・建物倒壊の危険が伴うため、“消防署員”を中心に行い、“消防団”はフォローにまわる。
- ・大勢の人員が必要ないので、残火処理にあたる団員以外は集合し解散式を行う。



状況にもよるが1時間前後

警戒

=

- ・“消防団”で再熱火災がないかを監視する
(万が一の場合は消防署に連絡)



解散